

インタビュ

エイソントクノロジー(株)
代表取締役社長

中川 幸和氏



は薬に行けるだろう。通常出回っている有機ELは2000〜3000cdがいところだから、5000

と聞きますが。中川 中国の永太に新工場を建設する計画がある。今のところは20cm角で40万枚の能力を持つ設備を導入する。投資額は約8億円、16年春の着工を考えている。また、同時に台湾および韓国での生産も検討中だ。しかし、これは自前で作るだけではない、相手先ブランドでも出したいと思う。このため韓国、台湾をはじめとする海外の有力メーカーと水面下で事

たため、一般照明への応用にはまだまだ厳しい情勢だった。しかし、今回の開発で十分に家庭や工場を使う一般照明の世界が見えてきた。現状の売り込み先は医療施設、美術館、スタジオ、舞台などであるが、自動車向けにも十分に使用できることから、国内外のメーカーと交渉を進めている。

エイソントクノロジー(株) 横浜市中区本町4-43、☎045-228-7987

作り上げることに成功した。すなわち輝度が5万カンデラ(c d) / m²と

より有機ELを追求してきたが、ついにここまで辿り着いた。考えている用途は照明向けである

cdあれば十分に勝負できる。通常の蛍光材料でこれだけの数字を叩き出すことに成功し、リン光

子が多段階積層するという技術を独自に立ち上げたことだ。また、拡散反射技術を用いることで、光の干渉が起きにくいという成果を生み出した。従来型の有機ELは、PN接続または導電性酸化物によるものだが、エイソントクノロジーはデバイス構造が異なり、何段階でも多く積層できる。中間接

国内生産体制は。中川 2013年7月にルネサス滋賀工場の一 corner に開発センターとマザー工場を設け、ひたすら開発/少量産を繰り返してきた。ルネサス滋賀で動いているエイソン型有機EL製造装置は、山口の長州産業が創り上げた優れものだ。72mmパネル

同時に台湾および韓国での生産も検討中だ。しかし、これは自前で作るだけではない、相手先ブランドでも出したいと思う。このため韓国、台湾をはじめとする海外の有力メーカーと水面下で事

たため、一般照明への応用にはまだまだ厳しい情勢だった。しかし、今回の開発で十分に家庭や工場を使う一般照明の世界が見えてきた。現状の売り込み先は医療施設、美術館、スタジオ、舞台などであるが、自動車向けにも十分に使用できることから、国内外のメーカーと交渉を進めている。

ニッポン発有機ELを世界展開

サプライズの5万カンデラ実現

というもので、まさにサプライズの数字を叩き出した。製品寿命が非常に長いという特徴もある。今後の開発・量産および事業計画に国内外の注目が一気に集まることになるだろう。同社を率いる代表取締役社長の中川幸和氏に話を伺った。

「世界を驚かす輝度を達成した有機ELができて上がりましたね。中川 エイソン方式に

が、角度に依存しない色変化の少ない光を追求してきて、スペック上はあ

材料は使っていない。もちろん将来的にはリン光材料も考えており、さらに寿命が延びて発光効率も良くなるだろう。

統層のCGIがすべて有機物であることも奏功している。ちなみに今回開発に成功した5万cdの有機ELは12段も積み込んでいる。市場で出回っている製品はほとんどが3段階程度までであるから、エイソンの技術力がいかに傑出して

サイズで年間4000枚の生産が可能だ。また、エイソン型の製造装置は1チャンパーで素子の成膜が可能だ。16年に予想される商業量産時には年間35万枚に引き上げる計画であり、具体的な設備投資計画も策定中だ。

海外生産も検討中

中川 この5万cdタイプができるまで、4万円/15cmのコストであっ



エイソンが開発したサプライズの5万カンデラLED

中川 エイソン方式に

が、角度に依存しない色変化の少ない光を追求してきて、スペック上はあ

材料は使っていない。もちろん将来的にはリン光材料も考えており、さらに寿命が延びて発光効率も良くなるだろう。

統層のCGIがすべて有機物であることも奏功している。ちなみに今回開発に成功した5万cdの有機ELは12段も積み込んでいる。市場で出回っている製品はほとんどが3段階程度までであるから、エイソンの技術力がいかに傑出して

サイズで年間4000枚の生産が可能だ。また、エイソン型の製造装置は1チャンパーで素子の成膜が可能だ。16年に予想される商業量産時には年間35万枚に引き上げる計画であり、具体的な設備投資計画も策定中だ。

海外生産も検討中

中川 この5万cdタイプができるまで、4万円/15cmのコストであっ

(聞き手・特別編集委員 泉谷渉)